

ベネッセハウス周辺

## 地中美術館



Photo : Seichi Ohsawa

瀬戸内の美しい景観を損なわないよう建物の大半を地下に埋設した美術館。クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品が安藤忠雄設計の建物に恒久設置されています。

開館時間

3月1日～9月30日  
10:00～18:00 (最終入館17:00)  
10月1日～2月末日  
10:00～17:00 (最終入館16:00)

休館日

月曜日  
※祝日の場合開館、翌日休館

鑑賞料金

2,060円  
※15歳以下無料

電話番号

087-892-3755



ベネッセハウス周辺

## ベネッセハウス ミュージアム



Photo : Tadasu Yamamoto

美術館とホテルが一体となった施設。アーティストが直島に滞在し、この場所のために制作したコミッションワークが多いのが特徴です。また、数多くの現代アートコレクションも展示されています。

開館時間

8:00～21:00 (最終入館20:00)

休館日

年中無休

鑑賞料金

1,030円  
※15歳以下の方とベネッセハウスにご宿泊のお客様は無料

電話番号

087-892-3223



ベネッセハウス周辺

## 李禹煥美術館



Photo : Tadasu Yamamoto

国際的に活躍するアーティスト・李禹煥の作品と安藤忠雄の建築を融合させた美術館。自然、建築、作品が呼応し響き合う静謐な空間は、静かにゆっくりと思索する時間を与えてくれます。

開館時間

3月1日～9月30日  
10:00～18:00 (最終入館17:30)  
10月1日～2月末日  
10:00～17:00 (最終入館16:30)

休館日

月曜日  
※祝日の場合開館、翌日休館

鑑賞料金

1,030円  
※15歳以下無料

電話番号

087-892-3754 (福武財団)



## 屋外作品

ベネッセハウス周辺には、屋外作品が多数点在しています。瀬戸内海の風景とともに、歩いてご鑑賞ください。

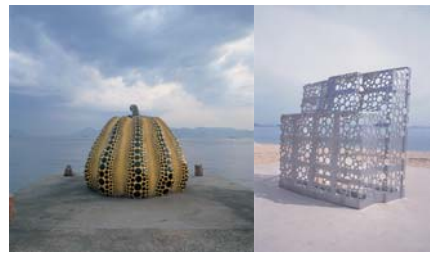


Photo : Shigeo Anzai, Osamu Watanabe

休館日

年中無休

※ベネッセハウス周辺は自動車・自転車の乗り入れが規制されています。

左:草間彌生 "南瓜" 1994年

右:大竹伸朗 "シップヤード・ワークス 船尾と穴" 1990年

本村

## 家プロジェクト



Photo : Norihiro Ueno

古い家屋を改修し、アーティストが家の空間そのものを作品化するアートプロジェクト。今日も生活が営まれる場に、歴史や地域の文化と現代アートが織りなす空間が作り出されています。

開館時間

10:00～16:30  
※「護王神社」の本殿と拝殿はいつでもご見学、ご参拝いただけます

休館日

月曜日  
※祝日の場合開館、翌日休館

鑑賞料金

共通チケット  
1,030円  
ワンサイトチケット  
410円  
※15歳以下無料

電話番号

087-892-3223 (ベネッセハウス)

チケット販売所

ベネッセハウス、本村ラウンジ&アーカイブ、直島町観光協会(海の駅なおしま内)、植田たばこ、T.V.C. RENTALほか

本村

## ANDO MUSEUM



Photo : Yoshihiro Asada

開館時間

10:00～16:30 (最終入館16:00)

休館日

月曜日  
※祝日の場合開館、翌日休館

鑑賞料金

510円  
※15歳以下無料

電話番号

087-892-3754 (福武財団)

安藤忠雄の設計による打ち放しコンクリートの空間が、直島・本村地区に残る築約100年の木造民家の中に新しい命を吹き込んでいます。



宮ノ浦

## 直島銭湯「I♡湯」



Photo : Osamu Watanabe

### 開館時間

平日  
14:00~21:00 (最終受付20:30)  
土日祝  
10:00~21:00 (最終受付20:30)

### 休館日

月曜日  
※祝日の場合開館、翌日休館

### 鑑賞料金

510円  
※15歳以下 210円  
(3歳未満は無料)

### 電話番号

087-892-2626  
(NPO法人直島町観光協会  
受付時間 8:30~18:00)

アーティスト・大竹伸朗による実際に入浴できる美術施設。直島島民の活力源となること、また訪れる人々と島民との交流の場として愛される銭湯となることを目指しています。

宮ノ浦

## 宮浦ギャラリー六区



Photo : Kimito Takahashi

### 不定休開館

イベント情報などはベネッセアートサイト直島のウェブサイト  
([www.benesse-artsite.jp](http://www.benesse-artsite.jp))をご覧ください。

建築家・西沢大良により、かつて島民が娯楽を求めて行きかっていた「パチンコ999 (スリーナイン)」が、隣接する公園とともに、島内外の人々が集うギャラリーとして生まれ変わりました。企画展示やワークショップ、トークイベントなどを実施する場として活用しています。

### ART Column

#### アート × 建築のコラム



直島パヴィリオン 所有者：直島町 設計：藤本壮介建築設計事務所

直島諸島に  
新たに  
加わりました！  
もうひとつの島が

### 宮ノ浦エリア 直島パヴィリオン [C-4]

建築家、藤本壮介氏による作品。27の島々からなる直島諸島に28番目の島として誕生しました。直島の自然や風景をアートとして感じることができる作品です。

約250枚のステンレス網で構成され、中に入ることもできます。

小さな美術館のような建築空間が、来島者を迎え、島の人々が立寄る開かれたアートスペースともなります。

各施設はメンテナンスや天候等により臨時休館にすることがあります

## ベネッセアートサイト直島

### とは？



Photo : Naoya Hatakeyama

1989年以来、瀬戸内に浮かぶ直島、豊島、犬島の3つの島を舞台にベネッセホールディングスと福武財団が展開しているアート活動の総称です。

穏やかな海に囲まれた島々、そこに息づく人々の暮らし。瀬戸内の島固有の風景や自然と融和した現代アートは、訪れる人の心を開きメッセージを放ちます。自然、アート、建築が融和することで生まれた、ここにしかない場所を、ぜひ体感してください。

公式ウェブサイト  
[www.benesse-artsite.jp](http://www.benesse-artsite.jp)

